

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-154591(P2019-154591A)
 【公開日】令和1年9月19日(2019.9.19)
 【年通号数】公開・登録公報2019-038
 【出願番号】特願2018-42526(P2018-42526)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月11日(2021.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
 遊技者の第1動作および第2動作を検出可能な検出手段と、
 前記第1動作を促す第1促進報知、および、前記第2動作を促す第2促進報知を実行可能な促進報知手段と、

前記第1促進報知に対して前記第1動作が検出されたこと、および、前記第2促進報知に対して前記第2動作が検出されたことのいずれかに基づいて、動作対応演出を実行可能な動作対応演出実行手段と、

所定期間において実行される前記第1促進報知の残回数を示す第1回数報知、および、前記第2促進報知の残回数を示す第2回数報知を実行可能な回数報知手段と、を備え、

前記第1動作と前記第2動作とは、動作態様が異なり、

前記促進報知手段は、前記所定期間において前記第1促進報知を実行しているときに前記第1動作が検出されることで前記第1促進報知を実行する第1報知制御と、前記所定期間において前記第1促進報知を実行しているときに前記第1動作が検出されることで前記第2促進報知を実行する第2報知制御と、を実行可能であり、

前記第1促進報知よりも前記第2促進報知のほうが遊技者にとって有利な促進報知であり、

前記回数報知手段は、

前記促進報知手段が前記第1報知制御を実行する場合は、前記第1回数報知として所定の残回数を報知しているときに前記第1促進報知が実行され、前記第1動作が検出されることで該所定の残回数から1を減算した数を前記第1回数報知として報知し、

前記促進報知手段が前記第2報知制御を実行する場合は、前記第1回数報知として所定の残回数を報知しているときに前記第1促進報知が実行され、前記第1動作が検出されることで該所定の残回数から1を減算した数を前記第2回数報知として報知し、

前記動作対応演出実行手段は、複数回の前記第1促進報知または前記第2促進報知に対してそれぞれ前記第1動作または前記第2動作が検出された回数に基づいて前記動作対応演出を複数回に亘って実行可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

手段 A の遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、
遊技者の第 1 動作および第 2 動作を検出可能な検出手段と、
前記第 1 動作を促す第 1 促進報知、および、前記第 2 動作を促す第 2 促進報知を実行可
能な促進報知手段と、

前記第 1 促進報知に対して前記第 1 動作が検出されたこと、および、前記第 2 促進報知
に対して前記第 2 動作が検出されたことのいずれかに基づいて、動作対応演出を実行可能
な動作対応演出実行手段と、

所定期間において実行される前記第 1 促進報知の残回数を示す第 1 回数報知、および、
前記第 2 促進報知の残回数を示す第 2 回数報知を実行可能な回数報知手段と、を備え、

前記第 1 動作と前記第 2 動作とは、動作態様が異なり、

前記促進報知手段は、前記所定期間において前記第 1 促進報知を実行しているときに前
記第 1 動作が検出されることで前記第 1 促進報知を実行する第 1 報知制御と、前記所定期
間において前記第 1 促進報知を実行しているときに前記第 1 動作が検出されることで前記
第 2 促進報知を実行する第 2 報知制御と、を実行可能であり、

前記第 1 促進報知よりも前記第 2 促進報知のほうが遊技者にとって有利な促進報知であ
り、

前記回数報知手段は、

前記促進報知手段が前記第 1 報知制御を実行する場合は、前記第 1 回数報知として所
定の残回数を報知しているときに前記第 1 促進報知が実行され、前記第 1 動作が検出され
ることで該所定の残回数から 1 を減算した数を前記第 1 回数報知として報知し、

前記促進報知手段が前記第 2 報知制御を実行する場合は、前記第 1 回数報知として所
定の残回数を報知しているときに前記第 1 促進報知が実行され、前記第 1 動作が検出され
ることで該所定の残回数から 1 を減算した数を前記第 2 回数報知として報知し、

前記動作対応演出実行手段は、複数回の前記第 1 促進報知または前記第 2 促進報知に対
してそれぞれ前記第 1 動作または前記第 2 動作が検出された回数に基づいて前記動作対応
演出を複数回に亘って実行可能である、

ことを特徴とする。

さらに、前記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、遊技を行うことが可
能な遊技機（たとえば、パチンコ遊技機 1、スロットマシン）であって、

遊技者の第 1 動作（たとえば、プッシュボタン 3 1 B を押す動作）および第 2 動作（た
とえば、スティックコントローラ 3 1 A を傾ける動作）を検出可能な検出手段（たとえば
、プッシュボタン 3 1 B のプッシュセンサ 3 5 B、スティックコントローラ 3 1 A のコン
トローラセンサユニット 3 5 A、演出制御用 CPU 1 2 0、図 8 - 1 ステップ 2 7 0 F S
1 2 5）と、

前記第 1 動作を促す第 1 促進報知（たとえば、図 8 - 3（B）等で示すプッシュボタン
3 1 B の画像および「押せ！」の文字の表示）、および、前記第 2 動作を促す第 2 促進報
知（たとえば、8 - 4（D）等で示すスティックコントローラ 3 1 A の画像および「引け
！」の文字の表示）を実行可能な促進報知手段（たとえば、演出制御用 CPU 1 2 0、図
8 - 1 ステップ 2 7 0 F S 1 2 3）と、

前記第 1 促進報知に対して前記第 1 動作が検出されたこと、および、前記第 2 促進報知
に対して前記第 2 動作が検出されたことのいずれかに基づいて、動作対応演出（たと
えば、図 8 - 3（C）等で示す「大」、「当」、「り」、「確定」等の文字の表示、図 8 - 5
（C）等で示す「チャンス!」、「激熱!」等の文字の表示）を実行可能な動作対応演出
実行手段（たとえば、演出制御用 CPU 1 2 0、図 8 - 1 ステップ 2 7 0 F S 1 2 6）と
、

所定期間（たとえば、リーチ期間、大当たり中、リーチ前）において実行される前記第 1

促進報知の残回数を示す第1回数報知（たとえば、図8-3(A)、(B)等で示す「ボタン操作：残り 回」の文字の表示）、および、前記第2促進報知の残回数を示す第2回数報知（たとえば、図8-4(D)等で示す「スティック操作：残り 回」の文字の表示）を実行可能な回数報知手段（たとえば、演出制御用CPU120、図8-1ステップ270FS122）とを備え、

前記回数報知手段は、前記第1回数報知を実行した後、特定条件（たとえば、第1促進報知の実行後に第1動作が検出されたとの条件、第1回数報知への作用演出が実行されたとの条件）が成立したことに基づいて、前記第1回数報知に替えて前記第2回数報知を実行可能である（たとえば、図8-4(C)等参照）。